資料３

中原区区民会議課題調査部会　検討用シート

検討テーマ「安全・安心のきずなづくりに向けて」取り組み事項（案）

● 何でこの分野を取り組むのか（必要性）
● 誰（〇〇層）をどのようにしたいのか（目的）

● 何を取り組むのか
● どのように取り組むのか

● 誰が取り組むのか

	取り組み内容（分野）		具体的な実行方法（解決策）	実行主体 （協力依頼団体）	実施スケジュール				
					23 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	24 年 1～3 月
地域・区民・区民会議の取り組み	区民の防災意識の向上 ●防災訓練の参加者からは、日頃からの備えの必要性の声が多く寄せられた。 ●若い世代では防災に備える意識が低かった。	区民会議委員出身団体における防災意識の向上	●区民会議委員出身団体等で「ぼうさい出前講座」の開催することで、より多くの方へ防災意識を持ってもらうようにする。	区民会議 各団体					
		子育て世代における防災意識の向上 ●中原区は 20～30 代が 7 区で一番多い区である。	●地域の方が運営する子育てサロンなど乳幼児子育て世代向けの「ぼうさい出前講座」の開催することで、若い世代への防災意識の向上を図る。	各地区子育て支援推進委員会 各地区民生委員児童委員協議会					

	取り組み内容（分野）	具体的な実行方法（解決策）	実行主体 （協力依頼団体）	実施スケジュール				
				23 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	24 年 1～3 月
区民と行政の協働の取り組み	既存組織の連携強化 ●災害時の地域での活動の核となる避難所運営会議を円滑に運営するためには、自主防災組織、学校、ＰＴＡの連携が欠かせない。訓練参加者からも「地域での連携が難しい」という声が多く寄せられた。	●避難所運営会議の連携を図るため、自主防災組織、学校、ＰＴＡを構成員とした「防災ネットワーク連絡会議」を毎年、定期的に開催することで避難所ごとの連携を強化する。	自主防災組織 学校 ＰＴＡ 中原区役所					
	防災訓練未実施地区での訓練実施 ●訓練を実施していない地区では、多くの方が避難訓練の未体験者と想定されるため、訓練の実施を呼びかける必要がある。	●地域の自主防災組織に訓練の必要性を一層認識させ、訓練未実施地区に対して、小中学校を拠点とした訓練を計画的に実施する準備を行っていく。	自主防災組織 学校 ＰＴＡ 中原区役所					
	区民の防災意識の向上	●区民の防災意識の向上を図るため、防災に関する講演会（フォーラム）等を開催する。	自主防災組織 中原区役所					
	既存制度の連携強化 ●民生委員の独自活動である「災害時一人も見逃さない運動」と行政制度である「災害時要援護者避難支援制度」の連携についての課題解決策を検討する。	【検討中】						

	取り組み内容（分野）	具体的な実行方法（解決策）	実行主体 （協力依頼団体）	実施スケジュール				
				23 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	24 年 1～3 月
行政の取り組み	若い世代に向けた防災情報の発信 ●若い世代では、防災情報が行き届いていない状況があり、防災訓練の参加者も少ないため対策を講じる必要がある。 ●若い世代では、自分の避難場所・避難所等を知らない方が多く、認知度を向上させる必要がある。	●インターネットを活用して地域で実施される防災訓練等の情報を提供することで、若い世代の訓練の参加を促していく。	中原区役所					
		●出生の届出や転入手続きの際に配布している「中原区子育て情報ガイドブック」へ防災情報の掲載することで、若い世代に防災意識の向上につなげていく。	中原区役所					
		●「防災ネットワークエリアマップ（８地区）」を、各地区内のこども文化センターや保育園などに新たに配布し、掲載を依頼することで、市民の方に防災情報を提供していく。	中原区役所					